

令和5年度 若狭東高等学校スクール・ポリシー

スクール・ミッション【使命】

嶺南地域の総合産業高校として、農・工・商、それぞれの学科の特色を生かしながら地域社会と協働して学ぶ中で、地域の担い手となり得る力を育む。また、様々な教育活動を通して人権を尊重する心を持ち、社会に貢献できる、豊かな人間性と創造性を備えた人材の育成を目指す。

校訓

進取・敬愛・誠実

教育目標

- 民主的で文化的な国家を更に発展させ、世界の平和と人類の福祉の向上に貢献しうる人材を育成する。
- 真理及び正義と平和を希求し、豊かな人間性と創造性を備えた人材を育成する。
- 自然を愛し、勤労を尊び、健康でたくましい心身と知性・教養を兼ね備えた人材を育成する。
- 国際的視野を持ち、地域に貢献できる人材を育成する。

アドミッションポリシー【入学者の受け入れに関する方針】

1. 身につけた教養や専門的スキルをいかし、地域をより発展させたいと願う、高い社会貢献意識をもつ生徒
2. 互いの個性を認め合い、協力して目標を達成する力や、たくましく生きるための力を身につけたい生徒

グラデュエーション・ポリシー【育てたい生徒像】

学校スローガン「明日の若狭を創るのは君たちだ」のもと、ふるさと若狭を愛する心を育み、地域社会の発展に貢献できる資質・能力を備えた人材を育成する。

具体的には、

- ①基礎的基本的な学力を充実させる。
- ②専門学科の学習を通して地域と連携し、地域の課題に主体的に取り組む態度を育成する。
- ③特別活動、学校行事を通して、他者と協働し課題に取り組むことのできるコミュニケーション能力を育む。

カリキュラム・ポリシー【特色ある教育課程】

生活創造科

- ・1年次には、農業と家庭の基礎的な知識・技能を身につける。2年次より、農業の専門科目である「生物活用」や「農業経営」で農産物の栽培と活用について学ぶ。家庭の専門科目では、「食物」「保育」「福祉」「被服」分野について幅広く学び、家庭生活の質の向上と社会の発展を担う職業人としての知識・技能を身につける。講義と実験・実習を組み合わせを行い、実践的な知識・技能を育成する。
- ・調理実習や被服実習での製作活動、保育実習や介護体験など、他者や地域とかがかわる実践的な実習に主体的に取り組むことで、自ら課題を発見し解決する意欲と能力、他者と協働する能力を身につける。
- ・校外実習や課題研究で取り組んだ課題をパソコン等でまとめ発表することで、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につける。

カリキュラム・ポリシー【特色ある教育課程】

地域創造科

共通

- ・1年次では農業について基礎的な内容を幅広く学習し、2年次以降は生徒の興味・関心や希望進路等にあわせ、食農創造コースと地域開発コースに分かれて専門科目を学習する。
- ・専門科目の授業は講義と実験・実習を組み合わせを行い、実践的な知識・技術を身につける。学習活動をパソコン等でまとめて発表することで、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を身につける。
- ・専門科目に関連する資格や検定の学習を通じて、専門的な知識の定着を図る。
- ・「課題研究」等で地域と連携したプロジェクトを行い、地域の課題に主体的に取り組む力や他者と協働する能力を育む。

食農創造コース

- ・野菜や草花等の植物の生産から食品加工・調理、販売まで行う「農業の6次産業化」に対応した内容について学習する。地域の農業生産や食品に関する学習を通じて、農業・食料関連産業を担う人材を育成する。

地域開発コース

- ・測量や農業土木施工の基礎・基本を学び、国家資格の合格を目指す。さらに、地域の環境についても学習する。専門科目の学習を通じて、地域開発に貢献できる知識・技術を身につけた技術者を育成する。

カリキュラム・ポリシー【特色ある教育課程】

電気・機械科

電子機械コース

- ・ものづくりや機械制御の基礎的な知識や技能を、講義と実習を組み合わせることで身につける。
- ・「工業技術基礎」「実習」「課題研究」では、ものづくりや地域活性化への取り組みを通して、主体的に工業に関する課題を発見し、解決する能力を育成する。
- ・「工業情報数理」により情報技術を習得し、プログラミングの学習によって論理的に考える力を身につける。また、「課題研究」や校外実習での取り組みを情報技術を使ってまとめ、発表することでコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につける。
- ・就職から進学まで幅広い進路実現を図るための工業科目をバランス良く履修する。

電気コース

- ・卒業後を見据え、生活規範から工業的な知識・技術・技能まで、より実践的な能力を有した工業人を目指し、自らが考え、行動し、解決することで、地域に貢献できる人材を育成する。
- ・1年次は工業・電気の基礎科目を軸として基礎・基本を学習し、2年次からは、より細分化された電気の科目を学習するとともに、「工業技術基礎」「実習」「課題研究」を通して、専門的な資質の向上と能力の定着を図る。また、各種検定から国家試験まで電気に関する多くの資格を取得できるようなカリキュラムの編成により、学びの定着を図る。
- ・「工業技術基礎」「実習」「課題研究」では、他者と協働することでコミュニケーション能力を育成するとともに、実験や研究の方法やデータ処理、まとめ方などを自身で考えることで主体的に取り組む態度を身につける。また、取り組んだ内容や課題と成果をまとめ、レポートにしたり、発表したりすることでプレゼンテーション能力を身につける。

カリキュラム・ポリシー【特色ある教育課程】

ビジネス情報科

- ・1年次では、企業の取引を記録し、財務状況、経営状況を把握するための決算書類を作成する「簿記」とICT技術の活用スキルを身につける「情報処理」を中心に、商業科目の基礎を学ぶ。2年次からは選択科目群を用意することで、進路の希望や興味・関心などに応じて専門分野の学習を深める。
- ・「課題研究」では、地域商店街の活性化に取り組むイベントの企画・運営、また商業デザインやコンテンツデザインなどの企画・運営を通して、主体的に取り組むことで問題解決能力を育てる。
- ・「総合実践」では、システム設計に取り組むことで、ビジネスにおける問題解決に協働し、ICT技術をビジネスシーンで活用できる能力を育てる。